

令和4年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		6-	4
事業名	公害対策経費	会計	款	項	目
		一般	4	1	5
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	みらい環境課		
施策	9-5 環境衛生対策の推進	係名			

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	環境保全活動にかかる広報・啓発を推進し、環境保全意識の高揚を図る。
事業内容	環境保全活動にかかる広報・啓発を推進し、環境保全意識の高揚を図る。 公害等環境問題への対応として、水質汚濁をはじめ、騒音、悪臭、振動などの公害に対する監視・指導を推進し、未然防止及び適切な対応を図るため、環境基本法令等により、町内における水質検査等の環境測定を定期的実施する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)	
	1	環境測定値の基準値内率	89	96			%	↑	92
2									
3									
4									
5									
			令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B					8,269		7,271	8,643	
財源内訳	直接事業費 A				4,507		4,631	6,003	
	うち一般財源				4,507		4,631	6,003	
人件費(千円) B					3,762		2,640	2,640	
内訳	一般職員(人・千円)		0.57		3762	0.4	2640	0.4	2640
	臨時職員(人・千円)				0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	C対象が広すぎる
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	Ⅲ 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	環境基準値を超えた原因に対し、指導できる場合は三重県と共に指導を行う。自然由来のものについては経過観察をする。	③取組の課題	他市町の調査状況と比較すると、本町の調査地点数等が過剰である可能性がある。
②R4年度に実施した取り組み	現況把握に努めた(特に改善に取り組んだことはない)。	④今後の改善計画	調査研究し、現調査地点数等が妥当であるのか検討する。(本シートの目的が適正かの検証も必要)